バイエル

ジャストミート®

顆粒水和剤

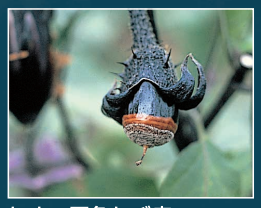
灰色かび病防除といえば、

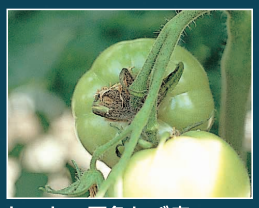
ベンゾイミダゾール系
薬剤耐性菌

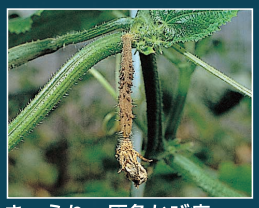
ジカルボキシイミド系
薬剤耐性菌

N-フェニルカーバメート系
薬剤耐性菌

なす、トマト、きゅうり、いちご、たまねぎの灰色かび病に高い防除効果。


なす　灰色かび病


トマト　灰色かび病


きゅうり　灰色かび病

いちご　灰色かび病

たまねぎ　灰色かび病

FENHEXAMID PROTECTION

有用昆虫にも影響が少ないので、ハウス栽培でも安心。

®ジャストミートはバイエルグループの登録商標

野菜用殺菌剤 バイエル **ジャストミート®** 顆粒水和剤

農林水産省登録 第20449号
有効成分: フェンヘキサミド 50.0% 殺菌剤分類 17
フルジオキソニル 20.0% 殺菌剤分類 12
毒　性: 普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指していう通称）

■適用病害および使用方法

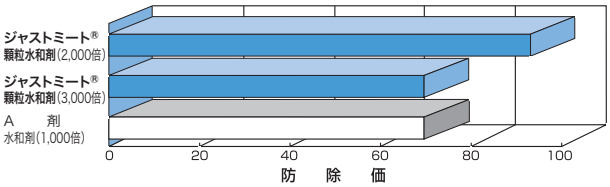
2019年7月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数（倍）	10アール当り使用液量（ℓ）	使用*時期	使用回数* 本剤	使用回数* フェンヘキサミド	使用回数* フルジオキソニル	使用方法
きゅうり	菌核病	2,000	150～300	前日	3回	3回	3回	散布
なす	灰色かび病	2,000～3,000						
トマト							4回(種子への処理は1回、散布は3回)	
たまねぎ			100～300				4回(定植前は1回、定植後は3回)	
いちご							3回	

＊印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

■試験成績

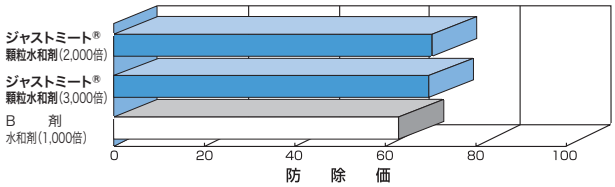
なす 灰色かび病に対する効果



平成10年（社）日本植物防疫協会研究所 高知試験場

発生状況：少発生（RS菌を2/17施設内に吊り下げ接種した）　**品　種**：竜馬
定　植：平成9年10月6日　**区制・面積**：1区6.75㎡9株3連制
処理月日：2月17、24、3月3、10日計4回 296ℓ/10a散布
調査月日・方法：2月24日、3月3、10、17日に収穫果数と発病果数を調査し、防除価を算出
薬　害：なし

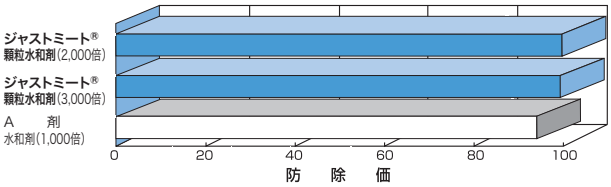
トマト 灰色かび病に対する効果



平成10年 石川県農業総合研究センター

発生状況：中発生　**品　種**：ハウス桃太郎　**定　植**：3月12日　**区制・面積**：1区4.9㎡14株2連制
処理月日：5月20、27日、6月3日計3回 展着剤特製リノー 10,000倍を加用し、200ℓ/10a散布
調査月日・方法：5月22日から6月16日まで、7段果房までの収穫果実及び未収穫果実の発病果数を調査し、防除価を算出
薬　害：なし

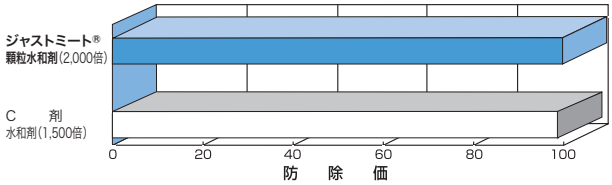
きゅうり 灰色かび病に対する効果



平成11年（社）日本植物防疫協会研究所 高知試験場

発生状況：中発生（接種）　**品　種**：シャープ1　**定　植**：1月12日
区制・面積：1区6.72㎡14株3連制　**処理月日**：3月3、10、17、24日計4回 200～296ℓ/10a散布
調査月日・方法：3月10～29日までの収穫果および4月1日の全果実について発病果数を調査し、その累積発病果率から防除価を算出
薬　害：なし

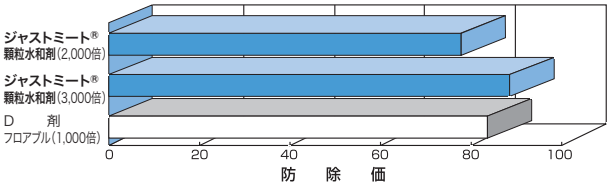
きゅうり 菌核病に対する効果



平成10年（社）日本植物防疫協会研究所 宮崎試験場

発生状況：中発生　**品　種**：シャープ1　**定　植**：10月29日
区制・面積：1区5.6㎡14株3連制　**処理月日**：12月2、9、16、22日計4回 300ℓ/10a散布
調査月日・方法：12月7～28日までの収穫果および12月30日には全果実について発病果数を調査し、それらの累計から発病果率を求め、防除価を算出
薬　害：なし

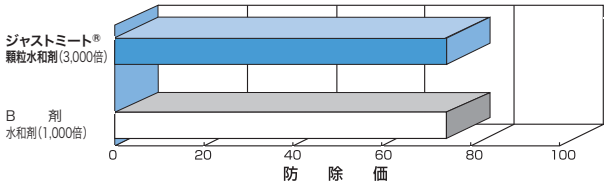
いちご 灰色かび病に対する効果



平成10年 宮城県植物防疫協会

発生状況：中発生　**品　種**：女峰
定　植：平成9年9月10日　**区制・面積**：1区5㎡3連制
処理月日：5月20、29、6月8日計3回 180ℓ/10a散布
調査月日・方法：6月17日各区10株、計30株の総果数と発病果数を調査し、防除価を算出
薬　害：なし

たまねぎ 白斑葉枯病（灰色かび病）に対する効果



平成11年 兵庫県植物防疫協会

発生状況：少～中発生　**品　種**：アース
定　植：2月28日　**区制・面積**：1区2.4㎡3連制
処理月日：4月30日、5月6日計2回 200ℓ/10a散布
調査月日・方法：5月17日発病葉数を調査し、その発病葉率から防除価を算出
薬　害：なし

■使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
- レタスに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して下さい。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節して下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意事項

- 粉末は眼に対して刺激性がありますので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は 手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。　●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。　●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262　https://cropscience.bayer.jp/
お客様相談室 0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日を除く

(F-2030 19.07.NY)